

—参画と協働の郷づくりに—

みんなの力で住民自治

シリーズ①「あなたの住む地域の将来を考えてみましょう！」

『ひと・まち・自然が出会う郷』の実現のために、伊予市は住民自治を確立し、「参画と協働の郷づくり」を目指しています。

大変厳しい財政事情と過疎化・高齢化が深刻化する中、これまで以上に細やかな市民サービスを維持していくためには、行政からの一方的なサービスの提供ばかりでなく、みんながともに話し合い、ともに活動しながら共通の目的を達成していく、そんな双方向の協働関係をつくることが必要となってきています。

そのためには、住民自治組織の制度化を図り、「住民みんなで支え合うまちづくり」を目標に、市民と行政が協力し合いながら住民自治の確立に向けた具体的な取り組みを進めていかなければなりません。

10年後、20年後の地域を想像してみてください…

1年間の人口の動き

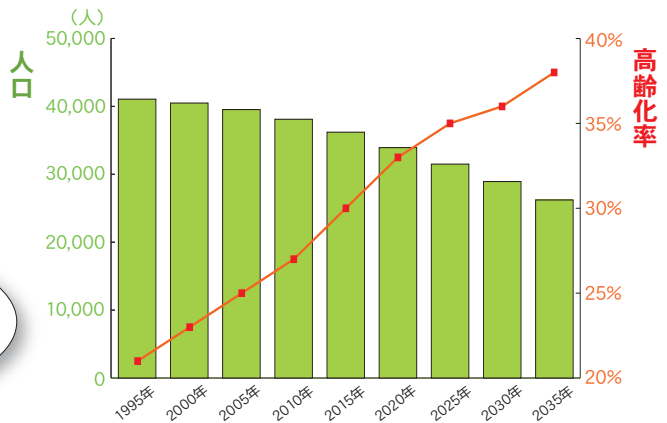
約200人の減少

高齢化率(65歳以上の方の割合)

約4人のうち1人(25.7%)



50年前と比較すると、半分以上に人口が減少している地域もあります。



地域の問題度チェック(当てはまる項目にチェックしてみましょう)

- 若い世帯は移住し、独居世帯が増えている
- 独身者が増え、子どもが少ない
- 農地・山林が荒廃している
- 地域の安全安心が確保できない
- 地域の活動に魅力がない
- コミュニティが希薄化している
- 役員のなり手がいない
- 役職・責任が一部の人に集中している
- 若者や女性の意見が通りにくい
- 無関心層が各世代に広がっている

たくさんチェックがついた地域は要注意！



「だれかがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心・人任せでいると、住民同士の連帯感はなくなり、地域はどんどん寂れていきます。

よりよい地域をつくっていくために、地域に住んでいる人たちがお互いに声を掛け合い、行動を起こしましょう！

■住民自治について、今月号からシリーズでお知らせします。

■問い合わせ 伊予市行政改革・政策推進室 中山地域事務所住民自治担当 ☎967-1111